

令和6年度川越市立大東西小学校 学校だより 12月号 令和6年12月2日

【目指す学校像】「自ら目標に向かって努力し、共に支え合う学校」

・明るく
・元気に
・美しく



かがやき

150周年記念式典

校長 堀口 雪子



校庭のイチョウが黄色くなりました。花時計のたくさんの花々や「人権の花」のパンジーも大きくなり、色鮮やかに咲いています。潤いにあふれ、整備された環境の中で2学期の最終月を迎えました。

11/9には、川越市長 川合善明様、教育委員会教育長 新保正俊様、多数のご来賓の皆様にご出席いただき、開校150周年記念式典を盛大に行うことができました。

式典の中で私は子供たちに、「たくさんの地域や保護者の方は大東西小への深い愛情と期待をもって、この機会に感謝の気持ちを持ち続ける人になってほしい。そして、大東地区を誇りに思い、いつまでもふるさととして大切にしてほしい。また、戦争の中も守り続けてきた伝統を引き継ぎ、これからも明るく、元気に、美しくの校風を大切によりよい学校を創っていきましょう。」という話をしました。大きな節目の年に子供たちと共に、愛校心や伝統を感じることができ、とても嬉しく思います。

さて、式典では全校児童による【大東西小よいところ総選挙】の結果発表がありました。4年生から6年生の記念式典実行委員さんがそれぞれ工夫して発表しました。

思いやりがあり、元気な子供たち。これも地域の方々にもやさしく包み込んでいただいているからなのでしょう。感謝の気持ちでいっぱいです。

式典の後は、八瀬コンサートがありました。ここまでの過程を大切にしようと、自分のめあてをもち、振り返りを続けてきました。自分や友達の成長を実感するとともに、気持ちを合わせることの難しさと美しさを経験しました。多くの保護者の方に参観いただき、子供たちは緊張しながらも精一杯努力の成果を発揮することができました。本番までの励ましや発表当日のあたたかい拍手、ありがとうございました。

【大東西小よいところ総選挙】

- 第1位 **思いやりがある**
- 第2位 **みんな元気である**
- 第3位 **地域の人がやさしい**

- ・みんなとできてうれしかった。きのうからドキドキしていて、れんしゅうではできなかったことがほんばんでできてしんぞうがとびだしそうだった。(1年)
- ・めあてをたっせいできて、一番うれしい。来年もこのめあてをたっせいしたい。(2年)
- ・はじめはできなかったけれど、どんどん練習するとみんなと楽器が合わさって行ってよかったなと思った。(3年)
- ・がんばって練習したらできた。あきらめないといいことが改めてわかった。友達と先生と支え合いながら歌や合奏を練習してきた意味があると思った。(4年)
- ・最初の練習は1フレーズしかできなかったけれど、最後の練習ではみんな息がぴったりで全部できていた。転校してきて初めての音楽会。みんなの絆にひっぱられて、私も西小の一員なんだなと思った。(5年)
- ・朝、地域の方が「がんばってね」と言ってくれた。歌は今までの思い出を思い返しながらい、他の学年の歌はその歌詞にどんな想いがこめられているのか考え、自分も一緒に歌っているような気持ちで聞いた。(6年)

★音楽会の感想より★

★2学期は 市民陸上(主催:教育委員会) かるた大会(主催:市子ども会育成団体) ふれあいフェスティバル(主催:大東西小PTA)などたくさんの地域等の催し物がありました。子供たちも積極的に参加し、学校では味わえない経験をしたり、学校で学んだことを発揮したりしていました。その様子を見ることができ、笑顔や真剣な表情が嬉しかったです。ご家庭のご協力、ありがとうございます。これからも、地域のイベント等への参加を呼びかけていきます。